

組合員とともに紡ぐ明日の農業・地域・JA

～総合事業の展開による自己改革の実践～

JA北越後第2次自己改革工程表(令和2年度)

重点施策		年次別工程(実施具体策・到達目標)			
		現状(平成30年度)	目標(令和2年度)	令和2年度上期実績	令和2年度末見込
農業者の所得増大①	① 差別化商品としての「食味品質適合米」の取扱を拡大し、生産者の所得増大に努めます。 ※プレミアム北越後米の有利販売 ※平成30年度米仮渡金価格 JA特裁 米 14,900円 プレミアム米 16,500円	北越後特別栽培米の中から、玄米タンパク質含量・整粒歩合・味度値・農産物検査一等米の基準を満たす米に価格を上乗せいたします。 30年計画:50000俵に対して実績173.0俵となりました。	○近年の天候不順により、整粒歩合が80%をクリアする事が非常に困難である為、目標を下方修正し、2,000俵とします。 (前年度実績:俵) ○プレミアム米の基準は変更せず、差別化を図ることで生産者手取りを確保いたします。	【コメント】 ・基準は変更せず北越後特別栽培米生産者に申し込み取りまとめを行いました。	【コメント】 ・天候不順によりコシヒカリ全体の1等比率が67%の見込みで、プレミアム米についても80%以上の整粒を達成する米穀は0俵の見込みとなります。 ・整粒基準の見直しを含め次年度の取り組みを検討致します。
		現状:173.0俵	目標:2,000俵 実績: 俵	上期実績:19,770俵申し込み	下期見込:0俵 年間合計:0俵
	評価指標:食味品質適合米取扱量	現状:173.0俵	目標:2,000俵 実績: 俵	上期実績:19,770俵申し込み	下期見込:0俵 年間合計:0俵
	② 園芸生産の拡大	一部品目によっては、生産者の高齢化により面積が減少しました。園芸生産拡大推進運動・園芸作物生産拡大支援事業を実践し、作付面積は拡大しました。	前年度は、高齢化等により作付け面積は目標達成には至りませんでした。目標とした面積の下方修正は行わず、継続して地域営農ビジョン・園芸作物生産拡大推進運動を基本とした作付面積の拡大を図ります。 (前年度実績:231ha)	【コメント】 前年同様、一部品目によっては、生産者の高齢化により、面積が減少しましたが、園芸作物生産拡大支援事業を実践し、面積の拡大に繋がりました。品目別面積拡大実績 アスバラガス28a・ねぎ82a・いちご3.57a・里芋130a・チューリップ切花3a・プロッコリー228a・玉ねぎ103a・枝豆74a▶合計651a	【コメント】 本年度の作付けは、ほぼ終了し面積は、確定数値となります。
		現状:229ha	目標:239ha 実績: ha	上期実績:232ha	下期見込:0ha 年間合計:232ha
	評価指標:作付面積	現状:229ha	目標:239ha 実績: ha	上期実績:232ha	下期見込:0ha 年間合計:232ha
	③ 園芸品目の販売力強化	作付面積は拡大したものの、度重なる異常気象の影響により出荷量が激減し、販売額に大きく影響しました。しかしながら首都圏を中心とした販売努力により高単価で取引されました。	○首都圏を中心とした販売努力に継続して取組み、販路の拡大を図ります。 ○市場・仲卸・量販店等との連携強化 ネット販売・カタログ販売の実施と業務加工用野菜の拡大を図り、当初目標の達成を目指します。 (前年度実績11.1億円)	【コメント】 作付面積は微増であるものの、度重なる異常気象(4月低温・夏場の連続降雨等)の影響により、生育停滞及び病害多発が原因で、出荷量が激減し、販売額に大きく影響しました。しかしながら首都圏を中心とした販売努力により高単価で取引されました。	【コメント】 ○首都圏を中心とした販売努力に継続して取組み、販路の拡大を図ります。 ○市場・仲卸・量販店等との連携強化 ネット販売・カタログ販売の実施と業務加工用野菜の拡大を図り、当初目標の達成を目指します。 (前年度実績11.7億円)
		現状:11.7億円	目標:13.4億円 実績: 億円	上期実績:5.9億円	下期見込:5.4億円 年度末見込:11.3億円
	評価指標:販売高	現状:11.7億円	目標:13.4億円 実績: 億円	上期実績:5.9億円	下期見込:5.4億円 年度末見込:11.3億円
	④ 現状の予約値引率を継続しつつ低価格の全国・県統一肥料への切替を推進し、農家のコスト低減に努めます。	統一肥料の取扱いと業者との個別交渉等による仕入れ価格の引き下げを行います。	県下統一肥料である越後の輝き有機種肥の取扱い増等により上方修正して取り組みます。 (当初目標:46,000袋) (前年度実績:46,134袋)	【コメント】 令和3年用の予約推進の進捗状況が前年対比80%の中での実績です。 (供給数量ではなく予約の数量)	【コメント】 予約推進(フォロー推進)の実施により目標達成見込です。
		現状:43,300袋	目標:48,000袋 実績: 袋	上期実績:44,782袋	下期見込:3,218袋 年間合計:48,000袋
	評価指標:供給数量	現状:43,300袋	目標:48,000袋 実績: 袋	上期実績:44,782袋	下期見込:3,218袋 年間合計:48,000袋
	⑤ 生涯現役・一生農業運動の拠点を農産物直売所と位置づけ、店舗販売高50%アップします。	○特売やイベント開催の定期化 ○直売所通信を月に1~2回発信。 ○会員数234名	○販売品目拡大と品質向上、イベントや特売日を拡大します。 ○広告・宣伝の強化により来店客増を図ります。 ○以上の事により客単価アップと売上増を目指します。 ○新たな直売所構想に基づき直売所建設に着手します。 (当初目標:1.06億円) (前年度実績:1.01億円)	【コメント】 ★品目拡大に向け不足品目種子を出荷者へ無償配布実施(4品目、申込40名) ★コロナ禍に対応したイベント・販売手法の変更 ★コミュニティバス、フリーペーパー掲載等の新規取組による広告宣伝強化 ★総代会承認を受け、直売所建設に着手 以上により9月末現在 <品数>171,317点 前年比123% <客単価>1,808円 前年比115% <客数>36,535名 前年比125% <売上>0.66億円 前年比144%	【コメント】 ★品目講習会による品揃え強化、マニュアル作成による品質向上 ★コロナ状況に応じたイベント継続、販売手法実施 ★直売所建設の推進継続
		現状:80百万円	目標:1.1億円 実績: 億円	上期実績:0.66億円	下期見込:0.44億円 年間合計:1.1億円
	評価指標:直売所販売高	現状:80百万円	目標:1.1億円 実績: 億円	上期実績:0.66億円	下期見込:0.44億円 年間合計:1.1億円
	⑥ 生産コストを抑えるため、セルフメンテナンス講習会(農業機械)の開催に努めます。	—	職員によるセルフメンテナンス講習会の開催 (前年度実績:講師養成4名)	【コメント】 新型コロナウイルス感染防止の観点から実施しませんでした。	【コメント】 新型コロナウイルス感染防止の観点から実施しない予定ですが、講師養成については行う予定です。
		現状:—	目標:1回/参加者50名 実績: 回/参加者 名	上期実績:0回/参加者 名	下期見込:0回/参加者 名 年間合計:0回/参加者 名
	評価指標:開催回数/参加者人数	現状:—	目標:1回/参加者50名 実績: 回/参加者 名	上期実績:0回/参加者 名	下期見込:0回/参加者 名 年間合計:0回/参加者 名

組合員とともに紡ぐ明日の農業・地域・JA

～総合事業の展開による自己改革の実践～

JA北越後第2次自己改革工程表(令和2年度)

重点施策		年次別工程 (実施具体策・到達目標)				
		現状 (平成30年度)	目標 (令和2年度)	令和2年度上期実績	令和2年度末見込	
地域農業の担い手の育成・支援②	①	担い手経営体の育成・支援により、73%の農地集積を目指します。	H30年度70.5%	令和元年度に目標到達する為、令和2年度は73%に上方修正して取り組みます。 (当初目標72%) (前年度実績72%)	【コメント】 農地中間管理機構を通じて、担い手経営体への農地集積を行いました。	【コメント】 引き続き担い手経営体への農地集積に努めます。
	評価指標：担い手経営体の面積シェア	現状：70.5%	目標：73%	上期実績：73%	下期見込：0.6%	年間合計：73.6%
			実績：%			
②	担い手経営体への農業経営支援活動を強化するため、農業経営アドバイザー資格の習得に努めます。	農業経営アドバイザーTAC2名取得	取組を継続 (前年度実績：0名・農業経営アドバイザー資格は期限内に申込みましたが、既に定員(全国400名)に達しており養成できませんでした。)	【コメント】 農業経営アドバイザー資格の取得に向け、TAC3名の申請を行うことといたしました。	【コメント】 TAC3名が農業経営アドバイザー後期試験に申請し、資格取得の見込みです。	
評価指標：取得人数	現状：2名	目標：1名	上期実績：0名	下期見込：3名	年間合計：3名	
		実績：名				
③	担い手支援室の設置とTACの増員により、担い手経営体と個別農家の経営を支援いたします。	TAC4名による法人および10ha以上の大規模農家への個別相談を実施いたします。	OR1年度の訪問先等を精査し、検討した結果、活動内容を充実する観点からTAC担当を12名体制とし、当初目標を修正のうえ取組を行うことといたしました。 ・担い手等への訪問先を重点訪問先とし、400先といたしました。 ・重点訪問先以外の経営体に対しては、指導会等を含め、1,200先といたしました。 (前年実績：900先)	【コメント】 法人構成員や離農等による訪問先のリストを再度見直し、11地区を5エリア体制から3エリア体制に変更のうえ、重点訪問397先(担い手等)と一般訪問723先として活動を実施することといたしました。(全体1,120先) なお、新型コロナウイルス感染防止の観点から当面の間、指導会等については除くことといたしました。	【コメント】 引続きリストに基づき、訪問面談と支援を実施いたします。 なお、指導会等については、上期同様の対応といたします。	
評価指標：訪問先数/1,600先	現状：/200先	目標：全体/1,600先	上期実績：全体/1,120先	下期見込：全体/1,120先	年間合計：全体/1,120先	
		実績：全体/先				
④	担い手相談室の設置とTACの増員により、法人化支援と新規就農者に対する支援・育成を行います。	営農センター(TAC)及び各営業所での個別対応	○地域の法人化への相談・支援 ○新規就農への相談・支援の強化 ○補助事業の提案・相談 (前年実績：法人化0/新規5名)	【コメント】 3団体の法人設立を予定していたが、2団体は協議の結果、断念し、1団体が法人の設立に向けて協議を進めております。	【コメント】 協議中の1団体が令和3年1月に設立予定となりました。	
評価指標：法人化/新規就農数	現状：67法人	目標：法人化3/新規5名	上期実績：法人化0/新規0名	下期見込：法人化1/新規0名	年間合計：法人化1/新規0名	
		実績：法人化/新規名				
⑤	水稲30ha以上経営する大規模農家・組織を対象に肥料・農業の3ヶ年面積予約を実施し、品目を絞ることで値引き率の底上げを図りコスト低減に努めます。 (対象28件、面積シェア28%)	値引率は面積に関係なく一律設定されております。	大規模農家と組織のコスト低減のため、3ヶ年の面積予約値引率を設定、予約面積のシェア拡大に努めます。 (前年度実績230ha)	【コメント】 令和3年用の予約推進の進捗状況が前年対比80%の中での実績です。 (供給数量ではなく予約の数量)	【コメント】 予約推進(フォロー推進)の実施により目標達成見込です。	
評価指標：予約面積	現状：0	目標：250ha	上期実績：200ha	下期見込：50ha	年間合計：250ha	
		実績：ha				

組合員とともに紡ぐ明日の農業・地域・JA

～総合事業の展開による自己改革の実践～

JA北越後第2次自己改革工程表(令和2年度)

重点施策		年次別工程 (実施具体策・到達目標)				
		現状 (平成30年度)	目標 (令和2年度)	令和2年度上期実績	令和2年度末見込	
地域の活性化	①	<p>部会組織（女性部、青壮年部、生産部会）と連携して、地場産農産物を使用した料理講習会の実施と食農教育を通じた地域住民との絆を深める活動を実施いたします。</p>	<p>女性部で年6回、ファンづくりプロジェクトで年4回の地場産料理教室を開催しました。</p> <p>○女性部で年12回、ファンづくり活動で年3回の料理講習会等で地場産農畜産物のPR活動の実施いたします。</p> <p>○実施内容を精査し、内容を充実する観点から当初目標を年20回から年15回に修正しました。(前年度実績:14回/年)</p>	<p>【コメント】</p> <p>新型コロナウイルス感染防止の観点から活動を中止いたしました。</p>	<p>【コメント】</p> <p>新たな生活様式を踏まえ、地域で行う料理講習会は実施する予定といたしました。</p>	
	評価指標：開催回数	現状:10回/年	目標:15回/年 実績: 回/年	上期実績:0回/年	下期見込:4回/年 年間合計:4回/年	
地域の活性化	③	<p>部会組織（女性部、青壮年部、生産部会）と連携して、組合員と地域住民を交えた共同活動の実践いたします。</p>	<p>○農業体験イベントの実施(田植え・稲刈り)</p> <p>○食育フェスタ(マルシェ)の実施</p> <p>○大農業まつりの実施</p>	<p>取組を継続(前年度実績:4回/年、稲刈りイベントは荒天の為中止)</p>	<p>【コメント】</p> <p>新型コロナウイルス感染防止の観点から計画していた下記のイベントは中止といたしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田植え、稲刈りイベント ・マルシェ 	<p>【コメント】</p> <p>上期同様に毎年実施していた「大農業まつり」は中止といたしました。</p> <p>毎年1月に開催されている雑煮合戦は、ドライブスルー方式等の対策を講じて開催される予定であることから、例年と同様に出席することと致しました。</p>
	評価指標：開催回数/年	現状:3回/年	目標:5回/年 実績: 回/年	上期実績:0回/年	下期見込:1回/年 年間合計:1回/年	

この工程表は、状況の変化等により、見直しを行うこともありますので、ご了承願います。